国土交通省
関東地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau.

Press Release

令和７年１月２１日
国土交通省関東地方整備局
荒川調節池工事事務所

荒川調節池の整備事業では脱炭素化を促進します

～カーボンニュートラルの達成に向けたＧＸの取り組み～

荒川調節池工事事務所では、ＣＯ２排出量の削減効果のあるコンクリート（低炭素型コンクリート）を試行的に活用し、建設施工に係る脱炭素化の促進に取り組みます。

当事務所は、荒川の治水安全度向上のための抜本的な対策として、荒川の中流域の広い河川敷を活用した荒川第二・三調節池を整備中です。

本事業では、令和５年７月２８日に閣議決定された「脱炭素成長型経済構造移行推進戦略」に基づき、ＣＯ２排出量の削減効果のあるコンクリート（低炭素型コンクリート）を用いた二次製品の連結ブロックを使用したり、現場製作する根固めブロックに低炭素型コンクリートを用いるなど、セメント使用量を減らすことでＣＯ２排出量削減に繋げるＧＸに取り組みます。

【現場製作の根固めブロックでの試行】
・Ｒ４荒川第二調節池排水門及び囲繞堤新設工事　（飛島建設（株））
【低炭素型コンクリートを用いた二次製品護岸ブロックでの試行】
・Ｒ６荒川第二調節池池内水路整備その１工事　（戸邊建設（株））
・Ｒ６荒川第二調節池池内水路整備その２工事　（（株）ユーディケー）
・Ｒ６荒川第二調節池池内水路整備その３工事　（（株）ケージーエム）

＜発表記者クラブ＞竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、東京都庁記者クラブ、さいたま市政記者クラブ、さいたま市地方記者クラブ、川越新聞記者会

＜問い合わせ先＞　国土交通省　関東地方整備局 荒川調節池工事事務所
電話：０４８－７６７－６０４１（代表）　メールアドレス：ktr-araike-koumu@mlit.go.jp
副所長（技術）　大須　（おおす）　（内線：２０４）
工務課　課長　大田　（おおた）　（内線：３１１）

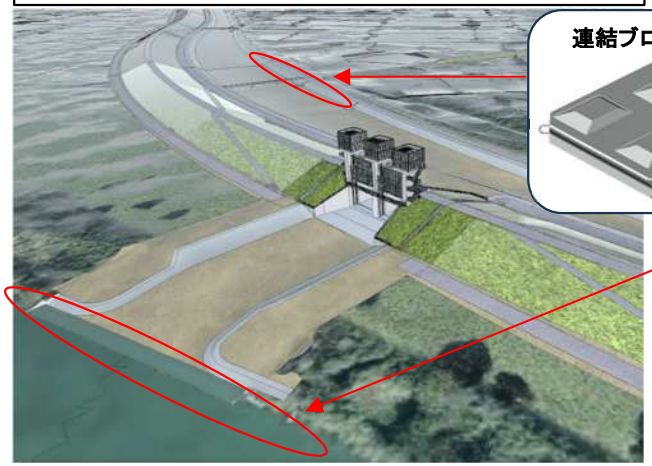
カーボンニュートラルの達成に向けたGXの取り組み

荒川調節池工事事務所

●荒川調節池工事事務所では、CO_2排出量の削減効果のあるコンクリート（低炭素型コンクリート）を試行的に活用し、建設施工に係る脱炭素化の促進に取り組みます。

・令和5年7月28日に閣議決定された「脱炭素成長型経済構造移行推進戦略」に基づき、CO_2排出量の削減効果のあるコンクリート（低炭素型コンクリート）を用いた二次製品の連結ブロックを使用したり、現場製作する根固めブロックに低炭素型コンクリートを用いるなど、セメント使用量を減らすことでCO_2排出量削減に繋げるGXに取り組みます。

施工箇所イメージ（CIMモデルより）



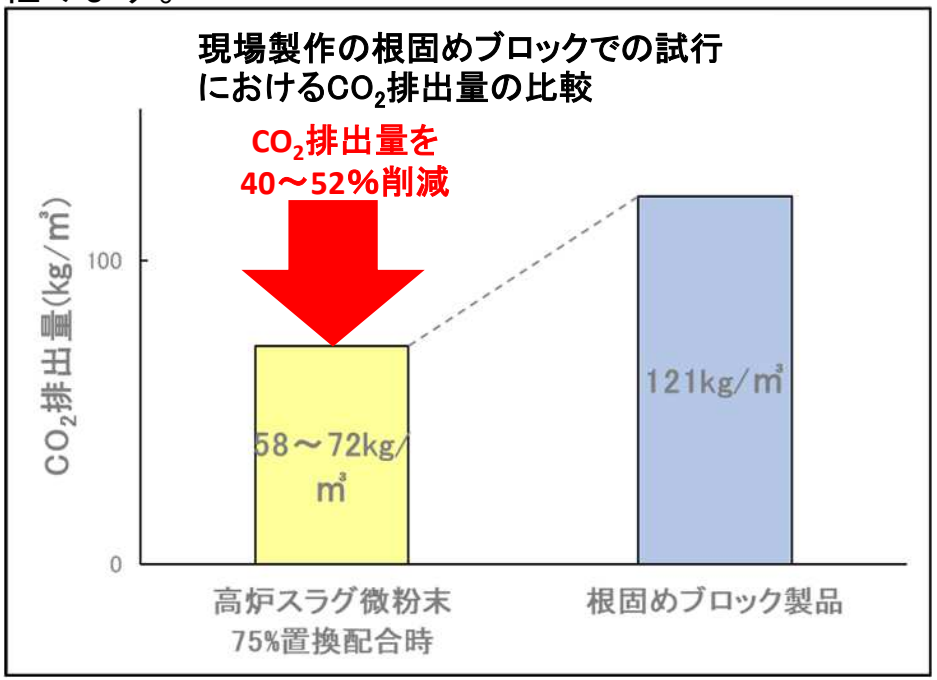
連結ブロックイメージ

根固めブロックイメージ

連結ブロック製作（Co打設）状況

根固めブロック施工状況イメージ

現場製作の根固めブロックでの試行におけるCO_2排出量の比較



※「セメントのLCIデータの概要」（一社）セメント協会 2024年4月1日
「コンクリート構造物の環境性能照査指針（試案）」土木学会 を参照しCO_2排出量を算出

【現場製作の根固めブロックでの試行】
・R4荒川第二調節池排水門及び囲繞堤新設工事
（飛島建設（株））

【低炭素型コンクリートを用いた二次製品護岸ブロックでの試行】
・R6荒川第二調節池池内水路整備その1工事
（戸邊建設（株））
・R6荒川第二調節池池内水路整備その2工事
（（株）ユーディケー）
・R6荒川第二調節池池内水路整備その3工事
（（株）ケージーエム）

●低炭素型コンクリートとは

コンクリートの材料であるセメントは、製造時に原料を焼く工程があり、製造時に大量のCO_2が排出されます。

コンクリートをつくる時に必要なセメントの一部を石炭火力発電所で排出されるフライアッシュや、製鉄所で排出される高炉スラグ等の産業副産物に置き換え、通常のコンクリートと同等の強度・品質を有するものです。

高炉スラグ微粉末